



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東
コード番号 3040 URL <https://www.soliton.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 理
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 TEL 03-5360-3801
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,165	12.7	908	53.2	949	79.7	685	71.1
2025年12月期第1四半期	4,585	0.2	593	21.3	528	△7.4	400	2.4

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 682百万円 (71.4%) 2025年12月期第1四半期 398百万円 (16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	37.00	—
2025年12月期第1四半期	21.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	25,203	13,420	53.2
2025年12月期	26,228	13,256	50.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 13,411百万円 2025年12月期 13,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	26.00	—	28.00	54.00
2026年12月期	—				
2026年12月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	7.3	3,150	10.7	3,200	7.5	2,350	2.3	126.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) (株)Sound-FinTech
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	19,738,888株	2025年12月期	19,738,888株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	1,197,498株	2025年12月期	1,197,498株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	18,541,390株	2025年12月期 1 Q	18,537,101株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済について、米国は物価上昇の沈静化が道半ばですが、生成AI関連投資や堅調な雇用環境を背景に安定的に推移し、欧州はインフレ鈍化が進む一方でエネルギー価格の影響から回復は緩やかでした。中国は不動産市場や個人消費の低迷が継続しています。日本は物価上昇の影響が懸念されるものの、設備投資やインバウンド需要により緩やかな拡大基調を継続しています。

IT投資環境は、企業競争力の強化および業務効率化・生産性向上を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みが引き続き高水準で推移いたしました。なかでも、クラウドサービスの利用拡大、生成AIの実務への適用、ならびにサイバーセキュリティ対策の高度化は、全業種に共通する重要テーマとして位置づけられ、関連投資は堅調に拡大しております。

一方、デジタル活用の進展に伴い、情報漏洩、ランサムウェア等のマルウェア被害、システム障害やサービス停止といったサイバーリスクは引き続き増大しています。官公庁・自治体・重要インフラ分野における対応強化に加え、民間企業ではサプライチェーン全体でのセキュリティ水準向上を目的とした規制・ガイドラインへの対応を意識し、計画的かつ継続的なセキュリティ投資を実施する動きが出てきています。

このような環境下、当社のITセキュリティ事業の自社製品/サービスの売上は好調で、売上高は5,165百万円（前年同期比12.7%増）となり、粗利率は48.8%（前年同期：45.9%）となりました。営業利益は908百万円（前年同期比53.2%増）となり、営業利益率は17.6%（前年同期：12.9%）と収益性が向上しました。経常利益は、資金運用による受取利息26百万円等で949百万円（前年同期比79.7%増）となりました。将来的に事業上の相乗効果が薄いと判断し100%子会社である株式会社Sound-FinTechを売却、特別利益として子会社株式売却益63百万円を計上しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は685百万円（前年同期比71.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「全社費用」に含めていた遠隔運転の基盤技術開発チームに係る費用について、基礎研究が完了し当期より事業化を推進することから、「映像コミュニケーション事業」に含めることに変更しました。当該変更後のセグメント区分に基づき前第1四半期連結累計期間のセグメントの業績値を変更し、前年同期比較を記載しています。

① ITセキュリティ事業

売上高は4,850百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は1,169百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

主要領域の「商品・製品」の売上が1,755百万円（前年同期比20.3%増収）、「クラウドサービス」の売上が707百万円（前年同期比9.4%増収）と堅調に伸びました。なかでも自治体強靱化第2期およびGIGAスクール構想第2期が進展し、国内シェアNo.1の認証アプライアンス「NetAttest EPS」の販売が好調でした。さらに、国産ベンダーとのアライアンスも進めました。クライアント証明書による強固な認証環境を実現のため、株式会社インターネットイニシアティブ（以下、IIJ）が提供開始した「IIJネットワーク認証ソリューション with Soliton」に、当社の「NetAttest EPS」と「Soliton OneGate」が中核製品として採用されています。また、日本電気株式会社（以下、NEC）が中堅企業や教育機関向けの安全なネットワーク環境整備のため、同社提供の企業向けVPNルータ「UNIVERGE IX-R」と当社のWebフィルタリングサービス「Soliton DNS Guard」を組み合わせたソリューションを発表しています。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は267百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント損失は60百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

「Smart-telecasterシリーズ」は、国内外のパブリックセーフティ分野（防衛、公的治安、災害対応）向け販売が堅調で増収となりましたが、映像配信システムを構成するサーバー価格上昇の影響等により減益となりました。遠隔運転分野について、パブリックセーフティ分野で大型の受注を獲得しました。また、民間バス会社や自治体と実証実験を進めています。

③ Eco 新規事業開発

売上高は47百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント損失は55百万円（前年同期はセグメント損失37百万円）となりました。

売上高はほぼ既存の人感センサーのみの構成となり、減収となりました。アナログエッジAIの開発は終盤に入り、設計の検証と修正を重ねながら試作品製造に向け進めています。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,024百万円減少し、25,203百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて776百万円減少し、23,177百万円となりました。これは主に有価証券が2,000百万円増加した一方、現金及び預金が2,142百万円、電子記録債権が340百万円、売掛金が235百万円、商品及び製品が50百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて248百万円減少し、2,026百万円となりました。これは主にソフトウェアが15百万円増加した一方で、繰延税金資産が222百万円、ソフトウェア仮勘定が42百万円減少したことによるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,180百万円減少し、11,716百万円となりました。これは主に契約負債が142百万円、未払金が140百万円増加する一方、未払法人税等が527百万円、賞与引当金が501百万円、支払手形及び買掛金が226百万円、流動負債のその他が149百万円、役員賞与引当金が57百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少し、67百万円となりました。これは主にリース債務が8百万円減少したことによるものです。

純資産の部については、前連結会計年度末に比べ163百万円増加し、13,420百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を685百万円計上した一方で、配当金を519百万円支払った結果、利益剰余金が166百万円増加したことによるものです。なお自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末比2.7ポイント増加）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2026年2月13日に公表いたしました数値より変更ございません。連結業績予想の修正が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,858	8,715
電子記録債権	1,349	1,009
売掛金	2,695	2,460
リース投資資産	97	89
有価証券	6,000	8,000
商品及び製品	1,050	999
仕掛品	66	67
原材料及び貯蔵品	48	47
前払費用	1,677	1,677
その他	125	127
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	23,954	23,177
固定資産		
有形固定資産	731	727
無形固定資産		
ソフトウェア	210	225
ソフトウェア仮勘定	60	18
その他	14	14
無形固定資産合計	285	258
投資その他の資産		
投資有価証券	12	12
差入保証金	378	375
繰延税金資産	393	170
その他	472	480
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,257	1,040
固定資産合計	2,274	2,026
資産合計	26,228	25,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420	1,193
リース債務	32	32
未払金	564	705
未払法人税等	655	128
契約負債	8,931	9,073
賞与引当金	752	250
役員賞与引当金	57	-
その他	482	333
流動負債合計	12,896	11,716
固定負債		
リース債務	65	57
その他	10	10
固定負債合計	75	67
負債合計	12,971	11,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326	1,326
資本剰余金	1,406	1,406
利益剰余金	12,163	12,330
自己株式	△1,310	△1,310
株主資本合計	13,585	13,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△338	△341
その他の包括利益累計額合計	△338	△341
非支配株主持分	9	9
純資産合計	13,256	13,420
負債純資産合計	26,228	25,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,585	5,165
売上原価	2,479	2,646
売上総利益	2,106	2,518
販売費及び一般管理費	1,512	1,609
営業利益	593	908
営業外収益		
受取利息	1	26
受取配当金	0	0
為替差益	-	17
貸倒引当金戻入額	-	0
償却債権取立益	2	-
その他	1	1
営業外収益合計	5	45
営業外費用		
支払利息	0	-
為替差損	60	-
固定資産除却損	0	-
投資事業組合運用損	9	4
その他	-	0
営業外費用合計	70	4
経常利益	528	949
特別利益		
子会社株式売却益	-	63
特別利益合計	-	63
特別損失		
投資有価証券評価損	13	-
関係会社出資金売却損	73	-
特別損失合計	86	-
税金等調整前四半期純利益	442	1,012
法人税、住民税及び事業税	16	104
法人税等調整額	25	222
法人税等合計	42	327
四半期純利益	399	685
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	400	685

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	399	685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△1	△2
その他の包括利益合計	△1	△3
四半期包括利益	398	682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399	682
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	75百万円	81百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「全社費用」に含めていた遠隔運転の基盤技術開発チームに係る費用について、基礎研究が完了し当期より事業化を推進することから、「映像コミュニケーション事業」に含めることに変更しました。なお、当該セグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しています。

Ⅱ 前第1四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	1,458	75	28	1,563
保守	1,361	15	－	1,377
クラウドサービス	647	26	－	673
役務その他収益	840	108	21	969
顧客との契約から生じる収益	4,308	226	49	4,585
外部顧客への売上高	4,308	226	49	4,585
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	2	5	9
計	4,309	228	55	4,594
セグメント利益又は損失(△)	805	△36	△37	731

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	731
全社費用（注）	△137
四半期連結損益計算書の営業利益	593

（注）全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 当第1四半期連結累計期間（自2026年1月1日 至2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	I Tセキュリティ	映像コミュニケーション	Eco 新規事業開発	
売上高				
商品・製品	1,755	102	43	1,901
保守	1,376	16	－	1,392
クラウドサービス	707	29	－	737
役務その他収益	1,009	119	4	1,133
顧客との契約から生じる収益	4,850	267	47	5,165
外部顧客への売上高	4,850	267	47	5,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	4	－	11
計	4,857	271	47	5,176
セグメント利益又は損失(△)	1,169	△60	△55	1,053

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,053
全社費用（注）	△144
四半期連結損益計算書の営業利益	908

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。